第52回運転・保守分科会議事録

1. **日　時**：2023年10月31日（火）10：00～11：50

2. **場　所**：一般社団法人　日本電気協会　4階　B会議室（Web併用会議）

3. **出席者**：（敬称略，順不同）

出 席 委 員：出町分科会長(東京大学)，永田幹事(日本原子力発電)，小倉(ｳﾂｴﾊﾞﾙﾌﾞｻｰﾋﾞｽ)，
野上(日立GEﾆｭｰｸﾘｱ･ｴﾅｼﾞｰ)，日隈（東芝ｴﾈﾙｷﾞｰｼｽﾃﾑｽﾞ），松澤竟(三菱重工業)，尾高(関西電力)，
古川(東北電力)，鈴木直(中部電力)，中村(四国電力)，藤田(北海道電力)，松澤泰(東京電力HD)，
森脇(中国電力)，山崎(電源開発)，浜田(日本原燃)，桐本(電力中央研究所)，
堀(日本原子力研究開発機構)，糸井(東京大学)，歌野原(公立小松大学)，木倉(東京工業大学)，
高橋(東北大学)，渡辺(元福井大学)，井口(発電設備技術検査協会)，坂元(原子力安全推進協会)，
澁谷(日本ｴﾇ･ｴｰ･ｴｽ)，仲井(元日本原子力研究開発機構)，永山(原子力安全ｼｽﾃﾑ研究所)，
野村(原子力発電訓練ｾﾝﾀｰ），長谷川(BWR運転訓練ｾﾝﾀｰ)　（計29名）

代 理 出 席 者：なし　（計0名）

欠 席 委 員：松崎(九州電力)，村上(北陸電力)，近澤(日本原子力研究開発機構)，，内一(東北大学)，
鈴木(中京大学)　（計 5名）

説　明　者：運転管理検討会　坂元主査(原子力安全推進協会)
運転保守指針検討会　松澤主査(東京電力HD)，米澤副主査(日本原子力発電)
保守管理検討会　関主査(九州電力)　（計4名）

常時参加者：なし　（計 0名）

オブザーバ：なし　（計 0名）

事　務　局：梅津，景浦，田邊((日本電気協会)　（計 3名）

4. **配付資料**：別紙参照

5. **議　事**

事務局から，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触するおそれのある活動を行わないことを確認の後，出町分科会長の開催挨拶があり，その後議事が進められた。

(1) 代理出席者，委員定足数，常時参加者，説明者，オブザーバ，配付資料の確認

事務局より，資料No.52(1)-1に基づき新委員3名の紹介があった。出席者は現時点で29名であり，分科会規約第10条（会議）第1項の開催条件の委員総数の3分の2以上の出席を満たしているとの報告があった。その後説明者4名の紹介及び配付資料の確認があった。また，新委員の古川委員及び歌野原委員より挨拶があった。

(2) 検討会新委員候補について（審議）

事務局より，資料No.52(2)シリーズに基づき，下記検討会委員の変更について紹介があった。分科会規約第

13 条（検討会）第 4 項に基づき，検討会委員の変更について分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，特にコメントはなく，5 分の 4 以上の賛成で承認された。

【運転管理検討会】

・委員退任　小澤　委員（中部電力）　　・委員候補　奥村　氏（同左）

・委員退任　新立　委員（九州電力）　　・委員候補　山下　氏（同左）

【緊急時対策指針検討会】

・委員退任　斉藤　委員（北陸電力）　　・委員候補　安田　氏（同左）

・委員退任　末廣　委員（関西電力）　　・委員候補　後藤　氏（同左）

・委員退任　東　委員（九州電力）　　・委員候補　河津　氏（同左）

【保守管理検討会】

・委員退任　喜多　委員（日本原燃）　　・委員候補　細川　氏（同左）

・委員退任　渡辺　委員（北海道電力）　　・委員候補　近藤　氏（同左）

【防火管理検討会】

・委員退任　牛島　委員（関西電力）　　・委員候補　新井　氏（同左）

・委員退任　市原　委員（日本原子力発電）　　・委員候補　磯野　氏（同左）

【運転保守指針検討会】

・委員退任　渡辺　委員（北海道電力）　　・委員候補　近藤　氏（同左）

⑶　前回議事録の確認

事務局より，資料 No.52⑶に基づき，前回議事録（案）の紹介があり，正式議事録とすることについて分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，特にコメントは無く 5 分の 4 以上の賛成で承認された。また，事務局より資料 No.52-⑶-参考 1 から資料 No.52-⑶-参考 3 に基づき，第 86 回原子力規格委員会議事録，第 79 回基本方針策定タスク議事録（案）及び第 87 回原子力規格委員会議事録（案）について紹介があった。

⑷　規格改定案の中間報告 JEAC4804「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」

運転管理検討会 坂元主査より，資料 No.52⑷-1 及び資料 No.52⑷-2 に基づき，JEAC4804「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改定の中間報告について説明があった。

審議の結果，　10 月 31 日（火）から 12 月 1 日（金）12 時までの 1 ヶ月間意見伺いを実施し，意見対応後，原子力規格委員会へ中間報告することについて了承された。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・　今回，電気事業者が運転責任者合否判定規定を改定して申請するということで，JEAC4804 も同時期に改定するという認識だが，それで宜しいか。また，今回の改定ポイントは 2 つあり，1 点目は，これまで新型コロナの関係で非常手段として定義していたオンラインによる試験等を，約 3 年間の実績を反映して通常の手段とすること，2 点目は，廃止措置プラントのみの経験では運転責任者の新規受験・更新を認めないとすることと認識したが，それでよいか。

→ その通り。

・ オンラインについては，誰がどういう場合に実施すると決めるのか。受験者の希望に従って決めるのか。
→ 今回の改定の趣旨は，オンラインも通常の実施方法の 1 つであるということを定義したものであり，実施方法を大きく変えることを目的としているものではない。基本的には対面での実施を継続するが，いずれオンラインが主となる流れになる可能性があることを考えて，オンラインを実施するための条件を削除している。
・ 受験者が決めるのではなく，事業者が実施方法を決めることになると考えるが，それでよいか。
→ その通り。対面からオンラインに切り替える時には，原子力規制庁に説明することになると思うが，その際にJEAC4804 を改定しなくても良いようにしている。
・ これまで，実用炉の運転業務の範囲として燃料装荷から燃料が存在しなくなるまでとしていたが，運転責任者が必要なのは，燃料装荷から廃止措置認可までという理解でよいか。
→ 廃止措置が認可されれば，法令上運転責任者は要求されていない。
・ 今回改定の部分ではないが，資料No.54(4)-2 の 5 頁の「1. 目的」で，「実用炉規則に基づいて」とあるのに対し，「2.1 適用範囲」では主語が「発電用原子炉設置者」となっており，研究開発炉も適用範囲に入っているように読める。目的と適用範囲の間に不整合があるように思う。実際に適用範囲に実用炉と研究開発炉の両方を含めているのであれば，「1. 目的」に研究開発炉規則も記載すべきではないか。
→ 運転責任者の要求は実用炉規則に基づくものであるが，確認の上，別途回答する。
・ 本件は中間報告ということで，10 月 31 日（火）から 12 月 1 日（金）12 時までの 1 ヶ月間の意見伺いを実施する。意見伺いの結果を受けて 12 月 20 日の原子力規格委員会に中間報告を実施するので，宜しくお願いする。

(5) JEAG4803 の対応方針（報告）

運転保守指針検討会 松澤主査より，資料No.52(5)及び資料No.52(5)-参考に基づき，JEAG4803 の対応方針について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ JEAG4803 については，運転・保守分科会としては廃止ということが決定済みであり，廃止の手続きについて運転保守指針検討会で引き続き議論頂くことになっている。資料No.52(5)の 4 頁の対応方針で，パートA，B，D は今後確認していく。必要記載等は技術資料として発行することとし，現在安全設計分科会において作成中のものを参考として対応を進めていく。スケジュールも含め，本提案で進めることで良いか。
・ パートA，B，D の確認において，E，D と同様にASME OM との比較をする予定はあるのか。また，技術資料作成のスケジュールは未定ということでよいか。
→ パートA，B，D の確認については，ユーザーのニーズ確認を主眼とし，ASME OM と比較する予定はない。また，技術資料の作成については安全設計分科会の作成状況をみながらスケジュールに反映していく。基本的にはJEAG4803 の記載をそのまま残すことを考えている。
・ 規格を廃止としたとしても世の中から抹消される訳ではなく，将来参照することは可能であると思うが，技術資料として残すメリットは何なのか。
→ どの様な活用があるというのは具体的には検討はしていないが，現在各電力事業者で実施している検査の考え方の基が詰まった規格なので，新しい考え方のニーズがあった場合に，検討の土台として活用できるのではないかと予想している。

→ 事務局だが，今の質問に対して補足する。確かに規格を廃止した後も廃止したという記録は残る。ただ，将来まで生きた資料として残すという意味で，技術資料として残すべきというのが検討会としての結論であると考える。

・ 本件については，本方針に従って進めていく。

⑹ 原子力学会 2023 年秋の大会「安全な長期運転に向けた標準化活動」の報告（報告）

事務局より，資料 No.52⑹-1 及び資料 No.52⑹-2 に基づき，原子力学会 2023 年秋の大会「安全な長期運転に向けた標準化活動」について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ 特になし。

⑺ 今後の改定に向けた着目点（報告）

事務局及び保守管理検討会 関主査より，資料 No.52⑺-1 及び資料 No.52⑺-2 に基づき，今後の改定に向けた着目点について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ 資料 No.52⑺-2 は重要であると思うため，分科会として意見募集を実施した方が良いかと思うが如何か。

→ JEAC4804 改定の中間報告と合わせ，意見伺いを実施する。

⑻ その他

次回運転・保守分科会は，今年度実績と来年度活動計画及び JEAC4804 改定について審議したいと考える。開催時期としては来年 1 月中旬から 2 月中旬ということで，詳細については事務局から各委員に送付する。

以　上

第 52 回運転・保守分科会配付資料

別　　紙

資料 No.52(1)-1	原子力規格委員会 運転・保守分科会委員名簿
資料 No.52(1)-2	原子力規格委員会 運転・保守分科会委員名簿（日程調整）
資料 No.52(2)-1	原子力規格委員会 運転・保守分科会 運転管理検討会委員名簿（案）
資料 No.52(2)-2	原子力規格委員会 運転・保守分科会 緊急時対策指針検討会委員 名簿（案）
資料 No.52(2)-3	原子力規格委員会 運転・保守分科会 保守管理検討会委員名簿（案）
資料 No.52(2)-4	原子力規格委員会 運転・保守分科会 防火管理検討会　名簿（案）
資料 No.52(2)-5	原子力規格委員会 運転・保守分科会 運転保守指針検討会名簿（案）
資料 No.52(3)	第 51 回運転・保守分科会議事録（案）
資料 No.52(3)-参考 1	第 86 回原子力規格委員会 議事録（案）
資料 No.52(3)-参考 2	第 79 回基本方針策定タスク議事録（案）
資料 No.52(3)-参考 3	第 87 回原子力規格委員会議事録（案）
資料 No.52(4)-1	原子力発電所運転責任者の判定に係る規程（JEAC4804）の改定について
資料 No.52(4)-2	「JEAC4804-202X 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」 新旧比較表
資料 No.52(5)	JEAG4803-1999 への対応方針
資料 No.52(5)-参考	「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」の扱いについて
資料 No.52(6)-1	原子力学会秋の大会 企画セッション（標準委員会）「安全な長期運転に向けた標準化活動」当日メモ.
資料 No.52(6)-2	安全な長期運転に向けた標準化活動(3)保守管理規程／指針の次回改定に 向けた検討状況について
資料 No.52(7)-1	原子力規格委員会　運転・保守分科会　今後の改定に向けた着目点
資料 No.52(7)-2	原子力発電所の保守管理規程／指針の次回改定の方針について